FRIDAY, FEBRUARY 14, 1930. NO. 10881

The Japanese American News

昭和五年二月十四日【金曜日】第一万八百八十一號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0238-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

日米

軍縮會議は本舞臺に入る

(一)

松平大使は去る十二日、米國全權スチムソン氏（英字紙はHとも傳ふ）を訪れ、時報の如き、吾が主張を手交したが、その回答の主眼は、米國案を討議の基礎とするに反對し、補助艦に對しては、總括的に七割の比率を要求、潜水艦は現有勢力の保有を基礎とし、日米英の均等勢力を要求して居るが、米國がその基礎案に於て、補助艦の日本比率を六割、潜水艦を英米に對し、日本は二の比率を要求してゐるから、兩國間の主張には大きな溝があつて、この大なる意見の相違が、如何にして妥協を見るか、數字が示す所に依れば、決して會議の前途、樂觀するを得ない。

(二)

英米兩國が日本に補助艦比率六割を強要するその根本は、一九二一—二二年度に華府で開催された、主力艦制限の協定に基くのであつて、同時に布哇を除き、太平洋上に於ける、日米兩國領有の諸群島、要塞設備の問題も、密接なる關係を有してゐる。米國としては日本が補助艦及び潜水艦に於て前者は七割、後者は均等を要求すれば以上、太平洋上諸島及び比島までも、堅固なる要塞を建設するであらうと嘯し、日本の主張を挫かんとするであらう。然し乍ら、日本としては、主力艦が全然攻撃的武器であるのに、補助艦はその性質を著しく異にしてゐるので、國防的性質を多く有してゐる補助艦に對して、主力艦の比率を適用するは不合理なことであらう。

(三)

潜水艦にあつても、之復補助艦と同樣、防禦的性質を多量に有し、日本の如き海岸線の長い島國にあつては、主力艦に於て劣勢、甘んじて居る以上、主力艦と同一比率を適用するは不合理なことである。吾が全權は、去る十三日、日本の主張に對して、ステートメントを發表したが、要するに、是等の主張を說明高唱し、吾が主張の合理的なる所闡明にしたことであらうと思ふ。同事に佛國全權も、自國の主張に對するステートメントを表する筈であるが、日佛と英米の主張の相違が大であれば夫れだけ、會議の成功性に對して、不安が加はる譯である。

(四)

かくて會議は漸時その終末に近づきつゝあるが、終りが近付いたからとて、その會議が圓滿なる成功に近付きつゝあると云ふ事は、必ずしもそうではない。佛國としても、七十二萬四ふの主張が最も強硬なる位置であるとは、云ふ大補助艦を要求し、潜水艦に對する主張は、極端に強硬であるに、想到せしめ、容易に妥協を見るとは思はない。容易に妥協を見るとは思はない。容易に行くかも、之復補助艦に對する所、佛國の出模次第では、何時でも叫び付かうと待ち構へてゐるから、佛國の主張が如何にして融和するか、主張と議は、相分れて問題の如くに見ゆ乍ら、矢張り會議はなぐりつけられて全治二週間の負傷

(五)

最後に主力艦問題も、之復英米の間に、正面衝突を演ずるは爭はれぬ所である。英國の廢艦主力は最劣勢なものであり、米國は廢艦を口實に、優秀艦一隻を新造せんとしてゐる。掉尾たづさへて、緯士室を襲ひ、辭職せよ、脅迫、緯士室を襲ひ打負傷せしめ、緯士は、負傷者を出した。

七割要求明記を避け日本側の覺書

他國の有する勢力を考慮して國防に十分なる勢力維持要求

倫敦における日本全權は前週の英米の覺書及び一昨日の米國への回答文につゐて十三日早朝別項の如き要旨の覺書を公表し始めて日本の立場を明白にしたが、佛國も近く覺書を發表すべくかくて各國の主張の輪廓明白となると共に會議はいよ〜その核心に迫ることになつた。なほ左の電文にて見る如く日本は補助艦七割主張を正面的に提示することを避けて、交渉の餘地を殘した點は注目に値する

倫敦十三日合同特電）本朝日本全權が公表した覺書的覺書の要點は左の通りである。

(一) 華府條約による海軍休日五ヶ年に延長し一九三六年までとする。

(二) 主力艦の最大トン數を三萬五千トンより二萬五千トンに引下ける

(三) 主力艦主砲を十四吋（現在十六吋）に引下ける

(四) 主力艦々齢を二十六年（現在廿年）に延長する

(五) 航空母艦制限はこれを一萬トン以下のものにも適用し一萬トン以上のもの〻艦齢制限は廿六年（現在廿年）に延長、それ以下は廿年とする

(六) 八吋主砲巡洋艦につきては、『他國の所有する勢力を考慮して國防に十分なる勢力を維持』せんと欲する。

(七) 六吋主砲巡洋艦トン數を七千トンと七千五百トンの間に制限する

(八) 潜水艦全廢には反對するがその商船に對する攻撃制限には贊成する

(九) 潜水艦の比率は現有勢力維持し、艦齢を十三ケ年とする（日本現有勢力六十四隻外四隻建造中）

(十) 小型巡洋艦々齢は二十年とする

(十一) 驅逐艦々齢は十六年とする

(十二) 制限方法として總トン數主義と艦別主義の折衷案（幕僚委員會案）に贊成する

(十三) 各艦種間で制當トン數相互融通案は制限つきで贊成する

(十四) 八吋巡洋艦につきては日本は特にこれを國防上重視することを宣言する

(十五) 驅逐艦その他小補助艦につきても完全なるトン數または隻數の制限を期待する

(十六) 補助艦全般として日本は列強との比較にたいして完全なる國防比率を保有することを主張するが、同時に列強の保有勢力に準じ之を縮少する意志を有する

選擧風景

小高長二郎君

千葉政友公認

（千葉十三日電通）政友會は公認として千葉第三區に小高長二郎氏を追加した右により同區は森藤紀、横堀治三郎を加へて政友公認三名となつた

鈴木錠藏君を暴力團襲撃

茨城縣第三區政友會公認鈴木錠藏君の柿岡町での演說會場で飛行をやることになつたが使用機械中より飛出した十數名の暴漢が、緯士を壇上より引づり下し、袋叩きにして逃走。高浦町で鈴木君應援の演說會に暴漢はれ減矢を放ちにしたが、矢張り全治二週間の負傷

淺原健三君暴漢に睨まる

福岡縣第二區無產候補淺原健三君は筑紫郡池田小學校演說會に暴漢に襲はれ減矢を放ちにしたが、矢張り全治二週間の負傷

本社東京十三日特電

日本海上の孤島飛島が投票皮切り

大吹雪で形勢全く不明

日本海の孤島で山形縣管轄の飛島では十三日、選擧投票の皮切りをやつたはずであるが十日以來北日本一帯の大吹雪で形勢は全く不明である。同島は第二區に屬し酒田海都の中に含まれてゐる

大阪の栗本勇之助氏に資本代表の鉢まはる

國際勞働會議資本家代表は根津嘉一郎氏また辭退を申出たので大阪の商工會議所副會頭栗本勇之助氏が推薦され同氏もこれを內諾した

前栃木縣知事藤山竹一君卒去

森恪君の應援演說のあとで

前栃木縣知事藤山竹一氏は栃木縣矢板町昭和座で政友公認森恪氏の應援演說に臨み緯士控室で休憩中腦溢血で卒倒そのまゝ死去した

水難救濟乘組員不在投票は無効

（東京十三日電通）水難救濟船乘組員の不在投票は認めぬことに內務省では決定した

天下晴れての遲刻早引免許

（東京十三日電通）鐵道省では總選擧當日從業員有權者の遲刻早引を許す旨を告示した

日本から上海まで五時間でゆける

定期航空いよ〜開始

南京政府認可

（南京十三日電通）國民政府機關はドルニエ六百馬力二臺の大型で滬寧上海間を五時間半で飛ぶ豫定で往航期日は三月五日十四日十五日、復航は三月廿六日、各日八時、十二時、十六時、廿時、廿八日各日の不認可のためゆき惱んでゐたが、滬寧上海間の定期旅客航空路は交渉の結果いよ〜正式に許可され遞信省は日本空輸會社に準じ航空郵便の演說會場で備方を命ずしたので會社は驗乘組員は藤本加藤兩操縱士、田高田兩機關士村島無電技師森島航空士の六名である

立候補の届け出で八百五十で締切か

無競爭區が四つもある氣乘り薄

政友會の立運れ中立減少が原因

各地流血騷ぎ始まる

（東京十三日電通）總選擧屆出は本日をもつて締切るが昨日までの立候補累計は八百四十名で本日は全國の供託局は執務時間を延長して受つけるが、十三時の屆出を最後の數で結局八百五十名前後の者が逐鹿の模樣に聽聽することになつた。

これを前回の確定數九百六十名と比較すると一割二分見當の減少で、その理由は

(一) 野黨たる政友會が公認餘補の詮衡に苦心した結果、公認を希望してゐるうちに立候補の期を逸したものあり、前回の立候補より冊六名も減少してゐることゝ

(二) 小會派と中立候補は前回は百九十七名あつたのに今選擧は一割に足りぬ不成績だつたに鑑みて今回はその方面の反色候補が百名以上も減じたこと等である。

無投票で當選の幸運

ぶら下る四區

かゝる現象によつて、選擧區には無投票で當選の幸運を得たるものが、前回の如きは候補者が辛ふじて定員を充たすに過ぎたるに反し今日中に新候補が出ない場合は當選實施來始めての無投票當選豫定が續出する。これ等の選擧區では若し今日中に新候補が出ない場合は當選實施來始めての無投票當選豫定が續出する。これ等の選擧區では若し今日中に新候補が出ない場合は當選實施來始めての無投票當選豫定が續出する。

▲京都第三區　熊本一區　愛知第二區

▽

に一、二名といふ合氣な處も出來、黑人筋をして氣をもませる

▽

接戰地も大分あり

▽

歌に選したといふ奇現象を呈し

▽

米國の讀書で、今度の禁酒法論議くらゐ醜惡を極めたものは恐らくなからう。聽くから汚い話ばかりである。

▽

米國が主力巡洋艦比率として日本に求めたところはやはり六割であつた。六割六分ではなかつた。此點について記者は米國人の常識に信頼する。そして日本の輿論の憤慨は當然すぎるほど當然である。

▽

要するに問題の出發點は華府條約に對する日米兩國民の考へ方の相違である。日本は五五三の比率に讓つたことを千秋の恨事とし、米國は太平洋防衛制限の緩定をあくまで遺憾とする。まるで反對だ。兩者の距離は甚しく遠い。これでは妥協に骨が折れる。

▽

早春の加州は實に明るい。二月や半にして春光既に悠々たるを見る。山は青く、田園の花は頻に至る、まことに地上の樂園だ。

▽

夜にいれば月が美しい。臘月の春めいた感じはないけれども、さりとて皎たる寒月の凄さでもない。この月光を浴びて樹間に早咲きの花を探る亦雅なりである。

▽

金門公園の日本茶園では天滿宮前のペルシア櫻が七分の見頃である。梅はやゝ咲きすぎた。四季咲きの皐月は見事である。梅最も良し。

（二月十三日）

ベスト・ニュース

（東京十三日電通）昨日日比谷公會堂での演說會場で御大典祭の民衆の演說會の彈丸飛來し演說は中止の止むなきに至つた

演首相は「大統領」井上蔵相は「金解禁の神」鈴木內閣書記官長は「內閣の大番頭」

會場外に溢れた聽衆は大喜怒哀樂の演說はこゝかしこに愛想なる喝采と罵倒の聲とが入り混じつて滿場騷然。

若い若い無產候補者

無產黨候補は十三日現在累計九十七名で年齢は卅歳が一番多く四十八名、四十歳が卅二名、四十歳は七名、大十歳は安部磯雄、堺利彥の兩君切りで職業は「消費稅直接稅減稅斷行」が第一である。失業救濟、民業發展の仙臺における演說會は聽衆五千名の盛會で

犬養總裁の演說要旨

（東京十三日電通）犬養總裁は「米國の提案は會議の精神と日本の主張を極端に無視するもの認める。この際貴下の一段の御決心を期待する」と打電することを決議した。

軍縮聯盟が全權鞭撻

（東京十三日電通）軍縮問題聯盟は昨日水交社で會合し若槻全權宛に

正金增資に株主一部策動

（東京十三日電通）正金銀行株主一部は、同銀行の倍額增資期成同盟會を組織して運動を開始した

十億臺割れ

（東京十三日電通）金解禁後の流出により正貨準備十億台割れが近つきつゝあるが三井銀行は五百萬圓、外銀筋二百萬圓コレア丸で更に現送に決定、以上の傾向に油をそゝぐことになつた

正金準備

（東京十三日電通）正金銀行は三月五日十五日、各日復航五十臺は七名、大十臺は安部磯雄、堺利彥の兩君切りで職業は「消費稅直接稅減稅斷行」が第一である。失業救濟、民業發展の仙臺における演說會は聽衆五千名の盛會で

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
SAN FRANCISCO BRANCH 415 Sansome St. Tel. KEarney 1395
LOS ANGELES BRANCH 100 N. Main St. Tel. MUtual 6144-6145
資本金（全額拂込）壹億圓
積立及繰越金 一億二百万餘圓
預金總額 六億五百万圓
◎米貨定期預金（桑港扱）六ヶ月 年五分（羅府扱）六ヶ月以上年四分
◎郷里送金（日本全國何れの地へ取扱最近便にて精々も無手數料に貸附一割引、代金取立等一般銀行業務一切至極御便利に取扱申候）
◎外國爲替
◎日本貨預金 利率＝六ヶ月以上四分五厘 定期（特別扱）十年迄書替手續省略、六ヶ月毎に利子計入利率年四分五厘
◎預金證書を携帯に御貸金可致
◎郷里送金 日本貨預金
チエツキング アクカウント（殘高相當なる時は特に利息御支拂可申候）
横濱正金銀行 桑港支店 羅府分店

NIPPON SECURITIES COMPANY
日本株券賣買
桑港本店 351 California St. Tel. G.Arfield 5577
櫻府出張所 327 L St. Tel. Main 5755
サリナス出張所 107 Pajaro St. Tel. 596-W

◎各種寫眞機
◎活動寫眞機
◎及び材料一切
イーストマン會社代理店
桑港カーニー街一五九
電話サター五八一二
中原商會

◎イーストマン特約店
◎寫眞機、活動寫眞機
◎各種及び材料品
桑港ポスト街一六三九
電話ウエスト一〇九四
瑞穗商會

肺病療養の眞髓闘病新道 一・〇〇
肺結核早期診斷及治療學 〇・〇〇
呼吸器病者の新療養讀本 一・八〇
肺患者養生法祕訣 二・五〇
明快健腦法 雨宮保衛 一・〇〇
典 赤津誠內 一・五〇
間 石川千代松 二・五〇
性 林敏郎 一・五〇
人 朝岡稻太郎 一・〇〇
妊娠調節方法 岩崎直子 一・五〇
妊娠十ケ月心得 長谷川茂治 一・九〇
妊娠分娩新知識 根本四郎 一・八〇
名前附け方字引 一・三〇
運命判斷姓名の神祕 一・五〇
手相から見た戀愛の神祕
北米の五車堂 Tel. West 5488 1698 Post St., S. F. Cal.

債社公式株
THE FUJIMOTO SECURITIES COMPANY INC.
藤本證券株式會社 桑港支店
藤本ビルブローカー銀行姉妹會社
Rooms 827-829-831 Merchants Exchange Bldg.
465 California St. San Francisco, Calif. Tel. Garfield 2723

THE SUMITOMO BANK, LTD.
Branches 200 S. San Pedro St., Los Angeles, Calif. 315 California St., San Francisco, Calif.
THE SUMITOMO BANK of CALIFORNIA
400 L St., Sacramento, Calif.
桑港支店 櫻府支店
株式會社住友銀行
本店 大阪市北濱五丁目
資本金 七千萬圓
總預金 六億五千壹百萬圓
加州住友銀行
櫻府ユニオン街四〇〇番 電話メイン一〇七八
桑港カーネル街一五 電話サター一〇一九六
櫻府南サンピドロ街二一〇〇 電話ケイター八一一六
內地電信 東京、横濱、名古屋、京都、神戸、廣島、岡山、呉、尾道、廣島、門司、小倉、若松、博多、久留米、熊本
郷里送金（取扱迅速丁寧）
本國 預金 通知預金 日歩九厘
海外定期 年利四分五厘 六ヶ月毎に利子計算
◎當業案內 預金申込用紙御入用其他何事に依らず御用向の節は遠慮無く御通知下さい

大春堂 THE TAISHUN-DO
1423 KERN ST. FRESNO, CALIF.
◇五〇界 女婦五〇造 改五〇代 現號二月◇
鮮魚、精肉鳥、野菜類
アメリカン魚市場
桑港 ブキャナン街 一八三六
電話ウエスト七八九九

失樂園 世界文學全集 一〇
新潮社發行 一五〇
改造社發行 一五〇
現代詩人全集 有島武郎全集 子規全集 正岡子規著 一〇
木田美譯著 一〇
改造社發行 一〇
八百屋の娘 三人姉妹 小酒井不木集 貝殼一平 生ける處生術 吉川英治著 八〇
野依秀市著 一八〇
婦人サロン、うきよ、キネマ、短歌、吾

完備せる客室＝全部電話バス附（桑港ラグナ街一七〇一）
理想的の設備 第一流ホテル
カドナホテル
電話ウエスト二三三五＝二三三六
◎旅客事項に關しては何事に依らず御紹介下さい。萬事御相談に應じます
各室器具新調、湯、水、ヒーター及びバス附ルーム
新裝 櫻府 浪花ホテル
第四街一二一〇 電話 ノーン 三〇九四
各室無料電話、ヒーター、湯、水及びバス完備
最新式 櫻府第六街一二二六半 メーン ホテル
桑港 グリー街一六〇五 電話 メーン 八六一〇
新古家具賣買 SK家具合資會社
電話 ウエスト 四三二七
日本行汽船切符御申込に應ず
日本御料理 小川ホテル
613 California St. San Francisco, Calif. Tel. Davenport 1816
桑港パイン街五五一 551 Pine St. S. F. Calif.
和洋料理 帝國ホテル
（電話デプンポート七〇八三）日本行汽船切符取次
桑港 ミカド・ホテル 館主 世良田昌一
日本人町の中心、各室共湯及水の設備あり
導入國語顧手續、出國許可手續
MIKADO HOTEL WEst 1991 1734 Post St.
高橋眼鏡店 親切叮嚀第一出入國の手續を敢ます 1600 Post St., Walnut 4434
羅府南サンピドロ街一一八 太平洋ホテル 電話ウエスト一一二一 ルーム代大勉强 主人 鈴木眞吳
各汽船切符迅速に取扱ひます
羅府 Pacific Hotel 121 S. San Pedro St. Tel. Madison 6487
118 Weller St., Tel. MEro. 8361 ニューパレスホテル
各室湯水附入浴洗面設備完備 御使用の度あり
南サンピドロ街一一〇六半 トモエホテル 206½ S. San Pedro St., Tel. MUtual 0701
親御人形賣出し
三人官女王殿 五人囃子女臣 隨人 御親人形揃
及其の他人形、小道具、掛軸等一式 御殿
◇總目錄御申越次第進呈仕候
青木大成堂 1656 Post St., S. F. Calif. Tel. West 5361

CALIF. STATE LIBRARY SACRAMENTO, CALIF.

三日間大論爭を續けても 遂に採決を見ない

今は形勢逆轉の有樣

ヒューズ氏任命問題

（華盛頓十二日）三日間盛んなる論爭の後ヒューズ氏（新大審院長）の任命問題は遂に上院において採決されることなかつた。愈々投票採決に入らんとする際いよ〳〵票せんとする段になつて又々議論再燃大論爭みなる議論再燃して

白、比、人種戰巨魁等 上等裁判に廻附

懇願や脅迫を退けて 判事の公平なる判決 排斥と裁判は別らしい

(桑港特電) 白人、黒比島人、インドは一千弗にて六名は今なほ捕縛されたる八名の白人青年々々戰の時そのリーダーとしてサッナスの未決監にあると

尚今回のこの公平なる判決を下せるロバーク判事はこの事件の審理に当たるロバーク判事の下に行はれたが被告婦人ロンバ氏の熱烈なる比島人排斥決議文の起草者にして死刑の宣告を受けたる人物であつたことは、いまだ白人方面からの判事脅迫に屈せざりしロバーク判事を動かすを得ず遂に上等裁判所に廻附されることさか皮肉の感がある。

〔寫眞はロバーク判事〕

在日市民呼寄せで 市内卅餘團體の 代表者協議會

桑日參事員會で決定 來る十七日開催する

桑港日本人會の第二回定期參事員會は、十二日午後八時半から同會ホールで開かれた出席者は

一安 石田 野田 波多江 薗嶋 重住 北野 神崎 金澤 秀島 安井 駒田 田中 中井 三好 小德 鈴木 井戸本 天野 小宮

の諸氏(廿一名)、一安副會長開會の辭を述べ、川島書記長から前會參事員會の議事錄朗讀、議事報告等なし、すべて承認の後、目下問題となつてゐる金門學園附近における米人會社のギャンブルステーション新設計畫につき、同學園に採れる對策の概略を報告し、つゐて金澤會計から一月中の會計報告あり承認の後、過般總領事會に提出した參部委員を左の通り報告。

▲參議部委員 小豆澤兵重 土井武市 天野仁兵衛 石田仁兵衛

▲講演部 駒田貞良 栗原貫之 助野口才助 山崎齊 三好要吾

▲矯風部 山崎齊 三好要吾 北野朝次 森野庄吉 福島仙藏 中井清次郎 牧野保 小宮仁三郎

▲教濟部 中井清次郎 福島仙藏 牧野保 小宮仁三郎 遠藤定吉

▲青年部 天野仁兵衛 中井清次郎 野澤幹幸

▲會計部 天野仁兵衛 中井清次郎 野澤幹幸

▲兩生部 北野基次 野口才助 陰山鐵次郎

▲前務部 田中米吉 酒井喜多郎 田中岡村米市

▲參働部 鈴木鶴之助 石田太造 牧野保

右の中各部に同名あるは兼任右家認の後協議事項にうつり左の諸案を議定した

一 二月二十四日から開催の第二回定期參事員會の議題

一 在日本および布哇系市民呼びよせ運動協議の件—右は桑港の二月十七日在桑港の冊餘團體代表者を集會ホールに召集し、實行具體案を協議すること右、召集狀及び桑日會提案はたゞちに各團體へ發送のこと

二、在日本および布哇系市民呼びよせ運動の件—右は例年の通り援助すること

三、在米日會代表者會出席代表者の件—青木、一安の二氏選定の件については向後太平洋岸の米大陸轉航禁止令、誠につゝ關門としての惡地にあり、續まれてゐた禁止令が解御されるや日が來たとて注意を惹いてゐる極的に重要の仕事を當さねばならぬ桑港日會として、この際大いにその財政の基礎を確立せねばならぬとし、まづその審議案の大統領ルーズベルト氏の骨折の結果を次回の參事員會に諮ることとなつた、その提議される審議委員は左の諸氏である、青木 一安 金澤 重住 波多江 秀島 安井 中野 小宮 田中 井戸本 神崎 駒田 天野 鈴木 牧野 石出 中野口 薗島 駒田

任につき坂口源十郎氏を推薦することとし、委員會財政基礎確立の件、青木、一安の二氏選定の件、森野庄吉、陰山鐵次郎の三氏選任に對しては留任動議をなすことして門脇氏に對し青木、秀島の兩氏、森野氏に對し駒田、北野の兩氏、陰山氏に對して野田、山崎の兩氏を推薦、なほ第十四區部選出參事員任に對し、駒田、田中、鈴木、井戸本、中野、小宮、天野、石出、中野、薗島、牧野、駒田、田中、小宮、井戸本、中野、小宮、天野、駒田、石出、中野、薗島、牧野、鈴木

桑港市況 二月十二日

總てがスローにて市況は鈍調續き

オレンヂ、セロリー平凡 トメト、ビンズ不振

▲概況 休日明けの市場は特殊の物を除く外は總てがダレ氣分で鈍調であつた。チーヴアルオレンヂは手堅き所を見せた、果實類も野菜類もスローにて市價にも多少變化を見た

▲グレープフルーツ グレプフルーツの入荷は需要に對してよく均が取れて居ると見た。帝原物は氏候的良好にて三弗十五仙より四弗七十五仙、アリゾナ物四弗より四弗五十仙、アチエラ物最上五弗二十五仙位

▲アヴーカド 上物斤五十仙より六十仙内外にて昨朝と何等の變化を認めず

▲オレンヂ チーヴアル種大サイズ物は三弗二十五仙より五弗二十五仙、小サイズ物六弗より七弗にて活況を多少失ふ

▲レモン 上物五弗五十仙より六弗、チョクス物五十仙より一弗落ち、レモネットは四弗より四弗五十仙内外

野菜類

▲スプラウト ブラセルスプラウトは強調を示しハーフムーン物斤五仙より八仙、ダベンポート物九仙より十仙

▲ビンズ フロリダ物斤二十仙より二十一仙にて平凡

▲スピニチ 少量帝原より入荷しクレート一弗七十五仙より二弗、地方物斤二仙半より四仙にてウイークであつた

▲ルバーブ ストロベリールバーブの品薄氣味にて斤十四仙より十五仙、フツンヴイルよりのウインター物一弗二十五仙より一弗五十仙

▲トメト トメトの市況悪しく値別るる、ラグ一弗七十五仙より二弗二十五仙までに下落、クレート一弗七十五仙より二弗

▲アティチョーク 先つスロー二弗七十五仙より三仙、プーア物一弗五十仙内外、大クレート八弗より八弗五十仙

▲アスパラガス アスパラガス斤三十仙より四十仙、プーア物二十五仙位

▲セロリー セロリーは鈍して鉢入地方物一弗五十仙より二弗五十仙、チューラグイスタ物四弗五十仙より四弗七十五仙

桑港市場 二月十二日 果物相場 標準卸値

アラブル 箱	四テキ
ユートン	三五〇
スピンバーグ	三五〇
ローマン	三五〇
バナナ 布哇	三五〇
甘蔗 四	五仙半
グレプフルツ アラレ	三五〇
アリゾナ	三五〇
帝原	三五〇
レモン 飛切 箱	三五〇

野菜相場

アチチョーク	一五〇
アスパラガス 斤	一五〇
レタス 帝原物	一一〇
アヌオン	一五〇
赤 袋	一五〇
ビート 帝原 斤	一〇
ポテト 地方	一五〇
スタクトン 袋入野菜	一五〇
ビーツ	一〇
ルバーブ	一〇
スクウシ	一〇
ラグ 百斤	一五〇
ポテト	一五〇
セロリー クレート	一五〇
チュラビスタ 地方	一〇
キウリ 箱	一〇
ボンヤ物 箱	一〇
ビーツ	一〇
キャロット 打	一〇
トフニップ 打	一〇
ラディシュ 打	一〇
青菜 ラグ	一〇
ビンズ 斤	一〇
フロリダ 斤	一〇
コーン サック	一〇
カリフラワー 打	一〇
キャベーヂ 百斤	一五〇
ペパー メキシコ 斤	一五〇
ナス メキシコ 斤	一〇
スピニチ 斤	一〇

鶏肉卸商へ

ライブ 桑港渡 二二仙半

鶏卵相場卸賣

エキストラ 大 二六仙半
ミデアム 二二仙半

農業と經濟

農界近況

ポテト在荷 著しく減少 植付け增加か

(華府七日) 米國政府の發表に依る本年一月一日現在の晩作農家筋の手持ちを合つして八千三百七十五萬四千プラセルで昨年同期は一億三千九十四萬四千プラセルであるから、約四千七百萬プラセルの減少である。目下のポテト在荷は昨年同時と大差なく、在荷減に刺戟されたためでもあるまいが、本年度のポテト植付は既報の如く非常なる激揮を發想されてゐるけれども、この期待は必ずしも其通り行はれずして大半飯や藥的ギンブラーの實行的に減ひは實傳的のトラックがあつて、變態的なる場合がある。こゝに於いて投資者は其の投資の目的物に對する撰定並に買入時期に對して深甚の注意を要する次第である。

▲

投資者側から見て如何なる株を撰定するかと云へば申す迄もなく安全にして利益多きものでなければならない。インベストメント、アナリシスの著者ラガーコイスト氏は、其の重要條件として左の七を擧げてゐる。

一、安全
二、收入の確實
三、收入の適合良きもの
四、合法的なもの
五、市場に確實性を持つもの
六、市場に賣行き良きもの
七、市場に其の價格を確認されしもの

而して株を持つ場合には同一株のみ多く持たないことを附言してゐる。學者であり斯界に權威を持つ人々の著書に依つて見ても略ほ同一の意見を多少に拘らず御注文に應じます

山口友一郎 Rt. 1, Box 582, Turlock, Cal.

▽苺苗販賣 ニコハマ 極めて優秀の苗「ターラック產」 電話リビグストン第七七 杉浦虎吉 P.O. Box 195, Turlock, Cal.

△苺苗▽ 種(ニコハマ バンナー) 類(ニューオレゴン ヤングベリー(木苺)) 右苺苗何れも「ターラック產」最優秀品多少に拘らず御用命の程 梶岡八藏 P. O. Box 766, Turlock, Cal.

▼苺苗▲ 種(ニコハマ バンナー ニューオレゴン ヤングベリー(木苺)) 本場のギルローイで沿岸日本人中最大の種子生產販賣者たるグロアー種子株式會社に御注文下さい 梶岡重藏 P.O. Box 187, Turlock, Calif.

▼苺苗▲ ニコハマ バンナー ニューオレゴン 何れも新土地にて耕作せし最上等苗「シャスター オレゴン州產」御注文は全部產地より直接エキスプレス便にて發送す 梶岡重藏 P.O. Box 187, Turlock, Calif.

種子は Growers Seed Co. P.O. Box 681 Gilroy, Calif.

如何にして財を殖すか 投機か投資か (二)

▲

投資の目的物は重にスタックにボンドであるが、ボンドに就しては他日に譲りこゝには スタックに就て述べる。株とは何ぞやと云へば一口にビズネスに對する投資と云ひ得る故に、株はビズネスの業態時から云ふと現在と將來及び外界の經濟事情によつて株價に變動のあることを原則とする

好況見越し本年度の苺植付けは減少

(華府發) 米國農務省から發表した ストロベリー界の概況に依れば、本年度の斯界は一九二六年以後最も好況を豫想されてゐるといふ、二番目に出荷する苺州は減少してゐるし、一番苺を產する州は僅な增加を示してゐるだけであるから、本年度の作況が曾通作で、收穫期は大變動を生じない限り、大體好調な作況は、其力の主體をお表しになつたのでございませんの」

と、みさりは何となく、木下氏に突つかゝつて見たかつた。

「主體！ こんな、アブノーマル作品に、主體なんかある。のか、これはつまりルドンの模倣なんだよ。しかしルドンは、ちやんとした概念を統一されて混沌化だが、この繪は意味のない混沌化だよ。わしはこんな繪は大嫌ひだよ。」

「あゝ、だつて先生も審査して立派に通つてるぢやありませんか。」

「ふむ。それには、いろ〳〵わけがあるんだよ。」

「まあ、さんなわけですの。」

「この男は、吉川の仲間だよ」

吉川節といふのも審査員の一人だつた。

「二科には、そんな情實がございますの。」

「あるね。貴女も二三年勉强すれば、わたしがきつと、通してあげられるやうに。」

木下氏に微笑しながら云つた

「あら、わたし先生のお情なんかで通していたゞきたいとは思ひませんわ。」

「あはゝゝゝ。さう云ふ氣持も

他の九行は四パーセント半の利率である

論敵二

「だつて、こん寫實を離れた作品は、其力の主體をお表しになつたのでございませんの」

と、みさりは何となく、木下氏に突つかゝつて見たかつた。

「主體！ こんな、アブノーマル作品に、主體なんかある。のか、これはつまりルドンの模倣なんだよ。しかしルドンは、ちやんとした概念を統一されて混沌化だが、この繪は意味のない混沌化だよ。わしはこんな繪は大嫌ひだよ。」

「あゝ、だつて先生も審査して立派に通つてるぢやありませんか。」

「ふむ。それには、いろ〳〵わけがあるんだよ。」

「まあ、さんなわけですの。」

「この男は、吉川の仲間だよ」

吉川節といふのも審査員の一人だつた。

「二科には、そんな情實がございますの。」

「あるね。貴女も二三年勉强すれば、わたしがきつと、通してあげられるやうに。」

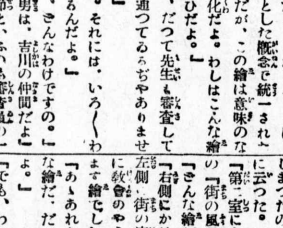
木下氏に微笑しながら云つた

「あら、わたし先生のお情なんかで通していたゞきたいとは思ひませんわ。」

「あはゝゝゝ。さう云ふ氣持も

新戀愛全集 (54)

菊池寛作



財界資料

航空乘客賃、一哩七仙八

ウエスターン、エヤー、エキスプレス會社が航空乘客賃の値下げを發表したので米國內に於ける エヤー、トラベルのマイル乘車賃は目下七仙八につく譚である。

米國內の國立銀行總資產額

(華府十二日) 米國內のナショナル、バンク十二月末日現在の總資產は二百八十八億八千二百八十八萬三千弗であると通貨監督官のポール氏より發表した。この總額は全米國七千四百八の立銀行總資產であつて、昨年十月四日の總額よりは九億五千八百十七萬三千弗の增加であるが、しかし、一昨年十二月末日の總額に比して十七億六百六十七萬三千弗の減少である。

準備銀行が利子引下げ

(華府發) フエデラル、リザーブボードの發表では、ボストン準備銀行が割引率を四パーセントに引き下げたので、四パーセントの利率を適用してゐるのは、ニューヨーク、シカゴおよびボストンの三地方となつたが

飲果東洋各野菜種子&農具肥料諸害虫劑
特撰確實 SEEDS CHOICED AND TESTED 種子
L. A. FARMER SUPPLY CO. 加州洛杉磯農業供給所 7225 E. 1st St., Los Angeles, Calif.

米國各地邦人商店に特別有効
婦人良藥 喜谷實母散
本舗 東京京橋區中橋中新町
著谷市郎右衛門
電話京橋五五五番 五六五番

資本金壹億圓
三井銀行 THE MITSUI BANK, LTD.
本支店 東京 大阪 神戸 横濱 名古屋 長崎 上海 紐育 倫敦 巴里 ハンブルグ 大連 釜山 仁川 ボンベイ 孟買 カルカッタ 下關 門司 羅津 清津 ウラジオストク 海外特別當座預金
▲利息 定期預金年利率 毎年百十万二千計算發表
▲通帳使用 御出入金等御自由ナリ
御出入金等御自由ナリ 五年書替ノ必要ナシ
此預金ハ特長ト利益
此預金ハ販賣ノ特長ト利益
御預入銀行為替及貸付 為替手形 金銀地金ノ買入賣出 證券ノ買入賣出 貸金庫ノ貸出 證券ノ保管 貴重品ノ保管 遺言ノ保管 遺言ノ執行 信託業務 不動産ノ賣買 不動産ノ管理 不動産ノ抵當 不動産ノ鑑定 不動産ノ調査 不動産ノ賃貸 不動産ノ賃借 不動産ノ賃貸借ノ仲介 不動産ノ賃貸借ノ保證 不動産ノ賃貸借ノ代理 不動産ノ賃貸借ノ管理 不動産ノ賃貸借ノ調査 不動産ノ賃貸借ノ鑑定

南加版
日米支社
羅府北サンピドロ街一一七
電話(MU)ユーチュアル八四一五

ウエッブ檢事總長來羅し土地事件いよ〳〵大詰の幕

讃港郡檢事側は尻込みしたが昨日刑事々件として上告決定

ヴイスタ土地事件に關し加州檢事總長ウエッブ氏昨日來羅、愈々刑事々件として大審院に上告せしめ加州土地法最後の黑白を爭ふ事に決定した

元來同事件は土地問題は、サンデーゴ法廷に於いて民事、刑事共に、被告側の勝訴となつたので、コーチル檢事正及クラーク副檢事は上告を躊躇してゐたところ、ウエッブ檢事總長は斷乎として最後まで爭ふべく準備を命じ、而も大審院公判期日を急ぐ爲めか刑事々件として持ち出す由

遲くとも本年中に排日土地法が死法なるか否か斷案が下されるわけである。昨日、殊勝者ライト辯護士は檢事總長と會見したところ明白に右樣の事實を言明、同胞側も早速應戰準備を整へ谷越法學士が今度も參加する事に内定してゐる。

羅府日會の話

各支店長も動員し陣立丈は仰々しい

委員諸公が六十と二人

一寸船頭が多過ぎます

題名の羅府日會は昨夜幹部會の結果、商業部を始め各方面に積極的活動をすることとなり委員として左の諸氏が擧げた

商業部、部長森文五郎　委員堀(龜)　鳴海　大窪、村田、角田、長松、廣田、生駒、小尾、富尾、福山(敏)　塚平、利行、加古、藤岡(精)　赤崎、上野、遠山　三本、浦田(毛)　安樂、赤司　敎育部、部長遠山、中木　小尾、渡邊(松)　吉野、嶋野　河野

農業部、部長迎田勝馬　北田、木津、官本、西本、松生方、改發、古川、松木、西本

社會部、部長富尾、熊本　河田　森(欽)　赤司　大村　三本

法務部、部長谷越　迎田　岩永

會員部、部長加藤、荒古　北浦、奥儀、風早、西村、渡邊(友)　山田、大窪、山崎

右の如く正金、住友、郵船、商船の支店長級から下町大商店の小尾、渡邊(松)　吉野、嶋野ボス連、學國長、法曹家までズラリと動員したのは景氣がい好か？

十六日から佐藤領事管内視察

日程＝發表さる

佐藤領事は左の日程によつて管内を視察する事となつた

二月十六日出發
十七日　サンデーゴ
十八日　エンセナダ
廿日　チワナ
廿一日　メキシカリ
廿二日　エルセントロ
廿三日　ユマ
廿四日　リバーサイド
廿五日　サンバナヂノ
同日　歸羅

同行には田畑書記生同行し、キスレー氏が自動車を運轉する

老人歸國に厚い同情

熊本海外協會有志や齊藤幹事等が

既報ドーチー養老院獨房に味氣ない余生を送る熊本縣人緒方榮太郎老(九十)に關する記事で熊本海外協會の迎田幹事、長本副會長、南海屋ホテル女將等は非常に同情し、何とかして當人の希望通り故郷を一目見せて死なせたいとかつてるが齊藤傳道團幹事も極力師團させる樣骨折り、目下當局に交渉中

一座三十一名東＝行

初音女史も夫君と共に

十六日ではフイダロア座出演を終る筒德一座は十七日羅府へ向け出發、途中シカゴ、ナイヤガラ等を經て本場ブロードウエイに入るわけだが一行は男女優の外に伊藤道郎夫妻、初音夫人は下座の音曲に出演)米人宣傳係一名)同道員方二名、合計三十一名の大馬場夫妻、入江支配人

一座

東＝行

初音女史も夫君と共に

十六日ではフイダロア座出演を終る筒德一座は十七日羅府へ向け出發、途中シカゴ、ナイヤガラ等を經て本場ブロードウエイに入るわけだが一行は男女優の外に伊藤道郎夫妻、入江支配人、初音夫人は下座の音曲に出演)米人宣傳係一名)同道員方二名、合計三十一名の大

日米支社

羅府北サンピドロ街一一七
電話(MU)ユーチュアル八四一五

地方色

モンロビア

▲增田勝次郎氏は魚骨が喉に引つかけ番日本病院に入院やつと快くなつて自宅で靜養中

モンテベロ

▲國粹會左のごとく決定學藝委員長植松三代作　會計三輪靜雄　淺野與吉　田喜三　宮崎貫作

ドーチー

▲津田先生を迎へた學園は十五日から授業を開始しピアノその他を購入することとなつた

ガーデナ

▲熊本縣人中の成功家なる林友規氏令孃たゆきさんは今度同縣人櫻本始氏と良緣成立、來る二十一日午後七時羅府合同教會で盛大な結婚式を擧行する

エルセントロ

▲ホルトビル樫木氏宅で十五日夜松岡、山本柳學士を招き歓迎講演會をひらくから同地方同胞奮つて來會ありたしと

▲ホルトビル三本松義光氏宅には玉の輿な男兒出生

▲佛教婦人會では坂部氏女史の裁ち方講習會開催中

サンタバーバラ

▲佛教會では十六日夜釋尊降誕會を催すから善男善女の參詣ありたしと

▲松尾鶴吉、佐藤茂一郎兩氏の病氣はその後快方に向ふ

▲大塚太一氏は先般生れた赤坊に大樹と命名した

サンタモニカ

▲坂本元老を中心とする有志連で城戸一派の有志連とが友和會解散で一寸折合がまづくなつたが、もとより實せば同じ日本人、これではならぬとソーチルの共存會に倣ひ堅實な團體を一致して作らうとしてゐるは目出たい

ガタループ(十一日)

清川八郎

109

三上於菟吉

黑路

刀かけには無反の野太刀が懸つて、鞘は狼狽りの淺間しさ幕府人なこの批難が當たつてゐるやうに思はれます。」

「では、この土浦も扇々しいことでござるな？」

と、安藤は不安げな口ぶりでいつた。

「土浦藩、成瀬藩、いづれも柳家に終古の深いことゆゑ、老人重役のやうにひたすらに江戸大切――隱密かくし目付が散々に追つめられて斬らでもよい詰腹を切らせられるものも多い仕末。天下峰起の形勢を前にして、あまりといへば狼狽りの淺間しさ幕府人なこの批難が當たつてゐるやうに思はれます。」

「では、この土浦も扇々しいことでござるな？」

と、安藤は不安げな口ぶりでいつた。

「イヤ、江戸ではおの〳〵の一方ならぬ御厚意にあづかつたが、このころは鳥なきさの編蝙に、さうやら肩ひち張つて世を渡つてゐるさる。先生が世間晴れての旅であれば、またまた、のおひき合せいたす人士もあるのでござるが――まづお毒味ないたさう。」

大木に大杯をあほつて、椀の盞をあけた。

大木はいつて、パン〳〵と手を打つと、かうしたいかめしい道場には少し不似合に見ゐるやうな綿の、紫がすりの娘が袖口からチラ〳〵と紅な物を見せて高飛の膳部を運んできた。

「何ていたしても、御安着のおいはひに、柚酒ながら一獻――」

「この者は、妹に、姪――」

おきないものでござれば、この場にさきましても無安はござりませぬ」と、笑しあひけりよい。」

大木の素性は相當正しいものだつた。土浦在の鄕士として、下總の石坂一味とも親交をつゞけ、今では地方劍客として鄕々いたはるやうな調子でいつて、のきこゝがあつたが、豪酒と放埒とで一時は世の中をせばめてゐるやうな酒甕もあつた。その結果が、江戸の劍友者長にこの城下に道場を建てたことも市での成功をほこるかのやうに安穩をかへりみて笑つた。

「イヤ、江戸ではおの〳〵の一方ならぬ御厚意にあづかつたが、このころは鳥なきさの編蝙に、さうやら肩ひち張つて世を渡つてゐるさる。先生が世間晴れての旅であれば、またまた、のおひき合せいたす人士もあるのでござるが――まづお毒味ないたさう。」

大木に大杯をあほつて、椀の盞をあけた。

懸賞尋ね人

百五十弗懸賞

原籍茨城縣西茨城郡東那珂村稻

秋山やそ

夫雄野上義(廿三歲)

相貌、丈五呎內外、肥滿、色白く顏偏平、斷髮(廿六歲)

右兩名現住所御一報の方へは謝禮として金五十弗呈す增田九一Rt. 1 Box 245, Torrance, Cal.

吉田繁治(卅五六歲)

原籍廣島縣山縣郡都谷村

增田イサミ(卅七歲)

身長五尺、體格よく色白一見温和に見ゆ

御禮廣告

神奈川縣足柄下郡田島村字田島故野地開次郎

加藤中の御厚情を奉深謝候又死亡の際は御香料を賜はり且つ御多忙中遠路御會葬被下誠に有難く御禮申候

一月廿三日

親戚　奥津改藏

友人　小林淺次郎　星崎仙太郎　今井市五郎　星崎爲次郎　土井島次郎　奥津伊三郎　篠崎雄

UNION HOTEL
345 E. 1st St.
Los Angeles Cal.
ユニオン旅館
東一街三四五
館主　迫田秋雄
電話ユーチュアル〇八一〇

ロスアンゼルス市
東一街三四五
ユニオン旅館
館主　迫田秋雄
電話ユーチュアル〇八一〇

羅府東一街二一九
第一街グラージ
電話TU二六一八
風早勝一

羅府東一街二三三
太平洋印刷所
電話タッカー六〇六〇

羅府東一街二三三
太平洋印刷所
電話タッカー六〇六〇

羅府日米新聞
電話TU九五〇(業務部)
FA五〇九六(編輯部)

羅府東一街三四七一九
電話TU一三〇八
南加州取次販賣店
促肥素
勸工場

羅府東一街三〇一
電話バンダイヤ六六二四
片岡時計店
片岡眼鏡店
片岡正子
ドクトル
視力檢定及矯正
南大觀料出身
ダイヤモンド寶石類貴金屬裝身具、時計

農家の一大福音補助肥料
並牛豚鷄肉類新鮮豊富
鮮魚一切
O・K魚店
羅府東一街三一八
電話タッカー一九九六

羅府東一街三〇一
法學士文學士
安倍法律事務所
安倍俊吾
羅府ウエラー街一一八(ユーバレスホテル)電話MUの六六

民刑法律事務移民事項
安倍法律事務所
羅府東一街二三六
電話MUの六六

羅府東一街二三六
アランホテル
館主　實
電話(MU)〇六一六

FAGEOL TRUCKS
ABC
フエージオルツラック
一噸より十噸迄
スクールバス
ツラック界の王
遠近通信見本の贈呈
日本人一手販賣
A・B・Cグラージ
阿部和彦
1006 S. San Pedro St. L. A.

羅府東一街と羅府街の角
富尾ビルヂング十二號室
赤名法律事務所
赤名精一
電話フエアー(FA)四七四二

羅府東一街二一九
親＝切＝第一
自動車修繕、タイヤ電池一切
叢夜ストレーヂ・ウオーキング
オリンピックグラージ
元YKグラージ修繕部長
電話タッカー(FD)五五〇七

羅府東一街二一二
確實迅速
サンピードログラージ

羅府四本願寺ビル二〇四號
法學士　迎田勝馬
電話タッカー一四六
迎田法律事務所

羅府北サンピドロ街一一二四
電話(FD)タッカー八一四一
食料品なら安くて新鮮の
西見商店

羅府北サンピドロ街一一七
電話タッカー一四六
迅速、鮮明、叮嚀
南加印刷所
山田作次

羅府東一街三三六
電話バンダイヤ(FA)〇一二四六
赤堀法律事務所
赤堀最

羅府富尾商店二階一號室
電話TUcker 8884
通信P.O. Box 718 L.A.

VA(82)3377
ラッキータクシー
本人經營
一度御乘り下さい
▲白人のタキシーと同値段
▲羅府市內外の觀光には最新式七人乘りのキヤデラックで地理に委しい運轉士が御案內申上げます
▲サンピードロ出入港の船へは當所より乘合自動車を出します
▲各地へ旅行に最も便利な各ステージ會社及タナー飛行機切符販賣日本人部總代理店であります
▲世界一最大の天文臺所在地行きマウントウイルソンステージも當代理店より毎朝午前九時丗分に出發します
一ローユビルベラトーキツラ
201 N. SAN PEDRO ST. L. A.

羅府東一街二一九
イーグルホテル
129½ E. First St.
Tel. Madison 6566

羅府東一街二一九
ミカドホテル
331½ E. First St.
Tel. Madison 5797

羅府北サンピドロ街一七
オリンピックホテル
117 N. San Pedro St.
Tel. Mutual 9869

羅府東二街三二五
フェドラホテル
323 E. 2nd St.
Tel. MEtro 6033

羅府北サンピドロ街一一四
電話(FD)タッカー八一四一
食料品なら安くて新鮮の
西見商店

羅府東一街四一一
大久保齒科醫院
Tel. Mutual 8407

親＝切＝第一
自動車修繕、タイヤ電池一切
叢夜ストレーヂ・ウオーキング
オリンピックグラージ
元YKグラージ修繕部長
電話VAバンダイヤ八七九一

福山家具金物店
電話VA(82)3377
オキシ・トーラー
ラッキータクシー

羅府北サンピドロ街一一七
肥後屋ホテル
館主　宮本常藏
電話Madison 6015

勞働口周旋、日本行汽船切符
羅府北サンピドロ街二一〇會社
小谷保險事務所
電話Madison 6015

羅府東二街三二六
(アサヒグラージ西)
電話(YAnike 九六九六
Tucker 九五三九

羅府東一街三百四十二番地
蒲善
電話ユーチュアル(MU)八七〇六

美術
意匠
細工
各種
かまぼこ
地方よりの御注文は特に入念に仕上げて送り致します

羅府東一街二一九
日本人葬儀社
電話TU.8410
支配人　鄕井齊

羅府ターナー街七〇七
日本人葬儀社
電話TU.8410
支配人　鄕井齊

日米官廳手續一切無料
叢夜遠近に不拘御用命に應ず

ホテルバレー
主人　矢野不二男
HOTEL VALLEY
Phone VA. 8836
106 S. Hewitt St. L. A. Cal.

新建築、出入國手續一切無料
鄕土食堂　△勞働口周旋
羅府旅館改め
羅府日米新聞

羅府東一街二一九
第一街グラージ
電話TU二六一八
風早勝一

羅府東一街二一九
太平洋印刷所
電話タッカー六〇六〇

羅府東一街二一九
日米官廳手續一切無料
叢夜遠近に不拘御用命に應ず
日本人葬儀社
羅府ターナー街七〇七
電話TU.8410
支配人　鄕井齊

ロスアンゼルス市
東一街三四五
ユニオン旅館
館主　迫田秋雄
電話ユーチュアル〇八一〇

羅府東一街二一九
日本人葬儀社
電話TU.8410
支配人　鄕井齊

羅府ターナー街七〇七
日本人葬儀社
電話TU.8410
支配人　鄕井齊

日米官廳手續一切無料
叢夜遠近に不拘御用命に應ず
ホテルバレー
主人　矢野不二男
HOTEL VALLEY
Phone VA. 8836
106 S. Hewitt St. L. A. Cal.

新建築、出入國手續一切無料
鄕土食堂　△勞働口周旋
羅府旅館改め
羅府日米新聞
電話TU九五〇(業務部)
FA五〇九六(編輯部)

羅府東一街二一九
第一街グラージ
電話TU二六一八
風早勝一

羅府東一街二三三
太平洋印刷所
電話タッカー六〇六〇

羅府東一街二一九
日本人葬儀社
羅府ターナー街七〇七

フレスノ日會 當選常議員

すらりと並ぶ六十有餘の選良

本日午後七時日會々議室にて開票委員長岡神川大原岡野立會人四新聞社員の立會の下に投票用紙九百十三通を投票箱に投票し開票の順序による各區選出者(括弧内の數字は得票數)

◇餘◇ 布目(常議員選擧は投票者)

◇白◇ 右のとおりだが競爭もつとも激しかつたと思はるるのがクロビスとフレスノ ▲他の地方が眠て業績者が多かつたに獨り右の二區のみは業績のパセントがすくないのに見ればその潜息がわかる但しフレスノは選擧規定により郵便送附の三十五票と本人が持參したから否が不明のもの六通が無効となつた ▲同點のものがデルレーで四人(畑、佐藤、中谷、三浦各氏のおのおの二票)は年長者があがれた ▲フレスノの當選者と次點者との得點の差があまりに多いのはいかなる理由か

投票者使數 三百九十八通

開票の順序による各區選出者(括弧内の數字上部は投票者使用紙下部は投票數)

▲オレフォダー(十一……一)
▲ローンスター(十七……二)
▲ローンスパーグ(四十二……四)
▲野菜方面(三十一……五)
▲谷本增藏 難波健太郎
北サンガー(廿六……五)
水木忠 矢倉仲藏
▲苺方面(三十三……二)
松原準一 中重甲之助
▲サニサイド(二十三……七)
岡野玉次郎 三上壽一
カレーマン(二十六……八)
山王藤次郎 中井與吉
マーデイ(二十……八)
望月秀雄 城福茂平
ブラクストン(十九……十一)
加來九十九 松田吾平
▲南サンガー(二十……十三)
小川三四郎 神出峰徳
デルレー(二十七……十三)
光宗吾作 三浦大九郎
センタビル(三十……十七)
田中慶次郎 長谷川宗一
セルマ(七十五……十四)
米原太一 山下一郎 神川嘉
ボールス(三十四……十五)
太田喜代藏 中田重太郎
マンモス(三十七……十九)
宮本軍造 星子寅太
バレナ(八十五……二十)
熊高竹市 高庄三郎 高野石
日本人部主任 城福茂平
日本人部副主任 長谷川宗一
日本人部幹事 神出峰徳
日本人部會計 田中慶次郎
日本人部監査 三浦大九郎
日本人部顧問 光宗吾作
日本人部書記 山下一郎

熊海支部

新役員 去九日デルレーホールに開催本海外協會布哇支部の總會開かれ前年度の事業報告會計報告を承認し本年度の重要決議をもなし役員選擧には左の諸氏が當選をなした

支部長 豊田豊作
副支部長 鳥井只喜
幹事 林宇太郎
中初藏
宮田子之吉
笹原範吾
江本彌次郎
中川末藏
會計監査 宮田師
特別會計 笹田師
同 午後八時 キングスパーグホール 京極師

出張説教

十五日(土)午後八時 バレナ小學校方 京極師
十六日(日)午後二時 ボールスチャーチ 京極師
十六日(日)午後八時 デルレーホール 京極師

デレノ(十一日)

●會館養蜂を繼る十六日午後七時半よりホールにおいて有効投票百〇九となる 神川幸一 大森嶋平 小見坂男三郎(九七) 利行泰造(九七) 西村完一(九一) 藤澤若松(九一) 大工廻朝信(八八) 池田杉松(八八) 澤本富太郎(八八) 松本久次郎(八八) 山本顯一(八四)宮貞米藏(八三)長岡重彦(八二)

以上十五名當選

次點 一(一五) 野野隆治(一七) 桑本 一(一五) 伊藤坂藏(一四) 坂本 一(一四) 高田軍一(一四) 以下略す

(括弧の數字は得點數)

●動車修繕工業 王府第五街二一七に宮川グラーゲと稱し新しく開業し自動車あづかり修繕業に獨特の技能をふるふよし同胞諸君の用命をのぞむ

●籠球戰 兒女協會軍とメリー軍の籠球試合は去る十一日火曜夜オークランドハイのコートにて業績者が多かつたに獨り右の二區のみは業績のパセントがすくないのに見ればその潜息がわかる

オークランド

●王府青年會の映畫 同會では命方面に活動しつゝある模子なる圖書の整理その他のため基金募集の目的で來月初旬に活辯界の新人岡野吟濤の說明の「天下一本半記」および大悲劇「天國の人」と題する活畫映寫すべく準備中なる詳細は開演前三日間に發表すべし

●寄附 岳尾喜四郎氏はキャンに轉勤するにつき同夫人は金五弗を麥嶺佛教婦人會金二弗および同日曜學校へ寄附

●根岸夫人移轉 マテナス邦語學園の教師根岸かう子夫人は今度麥嶺バーカー街一六三一へ移轉電話は麥嶺三七七五五番

ギルロイ(十二日)

日本人の團體生る

これまで當地方にも日本人の强團體の必要なることがしば〻論ぜられたがひとゝまでは生活力の旺盛時代はすぎて隱居の老人はいつまでも多い靈界の活動は今まさに二の期にありと、當選もまたこれからなりと、吾等の生活樣式は多樣生活で言も日本語及英語の二重表氣に洋の二重物も日本食洋食支那食の三重生活日本文明の發達史は多聞吸收最高探究美文明である、しかるにたゞ一人生命の源にあると、役員は次の如し

會長 竹友 副會長 中村類
一會計 森田覺一 會計監査 平崎 幹事 藤本 古賀 常議員 流園 末崎 大木 田中 堀田 新谷 山根 杉本 逸見 古賀 米田

麥嶺佛教の報恩講

麥嶺佛教會にては十大、十七日すなはち日、月南日に亘り左の順序により宗祖親鸞聖人の報恩講を施行するはずなれば多數の參詣者希望すと

十六日曜午後七時
讀經 各開教使 燒香 會衆一同 讚佛歌(恩德讚) 會衆念誦 法話 鷲岡開教使 山折開教使 讚佛歌(報恩講) 會衆一同 御傳鈔(上) 歸敬文 會衆一同 說教 會衆に寄附せりと、父兄の感謝實に大なり

十七日月曜午後八時
佛前作法 各開教使 讚佛歌 會衆一同 歸敬文 會衆一同 說教 遠山正導師 謝辭 佛教會代表

●寄贈 橋本作太郎氏が移住記念として金五弗を地邦語學園に寄贈せりと、父兄の感謝實に大なり

リビングストン(十一日)

バーザー

當村婦人會にては十五日七時後六時より開演し團員一同は大作品をはじめ數種內各所に出張をなし、うどん、ケーキ等の賣店設け、若い婦人方を第一線に押立て會員總出にて腕によりをかけ大いに活躍しようと準備中なるが當日は定めし盛會を見ることならん、なほバザーの利益金は教會電話設置の費用中に全部寄附されるよしなり

●教會記事 秋渡邊牧師着任以來教會を中心とし、コミュニーの賞賛一般に押立て會員總出にて腕によりをかけ大いに活躍しようと準備中なるが當日は定めし盛會を見ることならん、なほバザーの利益金は教會電話設置の費用中に全部寄附されるよしなり

●更生實記事 來る十四日(金曜)夜例會をひらき役員の改選を行ふはずなれば會員はふるつて參集されたしと、因に同會の月二月二十一日名士講演會 三月二日會員親睦 同七日會員演藝會 同十四日教會活動映寫會

全二十一日名士講演會 四月二十七日慶祝各番年の春季總會 大會上記の如くあるが愛更

●寄附 岳尾喜四郎氏はキャンに轉勤するにつき同夫人は金五弗を麥嶺佛教婦人會金二弗および同日曜學校へ寄附

●來村 バカビル員來支社主任氏は去る七日來村當地に來りしが九日麥嶺村

バロアルト 十二日

春期大傳道

北加基督教聯盟春期傳道は各地において開始せられるが當市美以教會のプログラムは左の如し

二月十六日 日曜午前十一時 日曜學校生徒總拜英語說教 サクラメント美以教會 町田牧師 同日午後 家庭訪問 今日午後七時バロアルト美以教會において佐市美以教會廣野牧師及町田牧師

「牧會の長老の言に曰く第一生涯の旺盛時代はすぎて隱居の老人はいつまでも多い靈界の活動は今まさに二の期にありと、當選もまたこれからなりと、會員募集の件

來る三月三日より八日まで五日間において全會員總掛りで募集することゝなつた

以上

メリスビル(十二日)

學園と青年會主催 演藝會開催

布市日會第一回定期參事會は日曜學校事務所にて催され左の事項協議せり

一、竹岡會長辭任の件 留任を勸告すること
一、參事員辭任の件 次點者に通知すること
一、央州聯日會代表者選擧參加
一、央州聯日會代表者選擧參加

家庭學園總會

一日日本市學園總會を南京街にて開催し各部の報告ありて後本年度役員改選され左の如し

會長 阿南惟德
副會長 高林歌次郎
會計 坪井彬
幹事 山田耕
監査 清水松次 小原元一
學務員 深井慶市 大西久助

布市日會 初始參事會

布市日本人街の中心にあり墨國人の顧客多く收入確實夫婦のに適す……フラレ街かどホテルに委細面談あれ

プロプリックス 一手專賣

寄生虫經帶

水木忠 布市F街九二〇 P.O.Box 274 SANGER, CAL.

湖月堂

布市F街九二〇 電話二一九九二〇

稲場病院

布市イー街九三五 電話 二一三七二二

小さい廣告 大きな信用

△ △

あるがいよ〻三月中に羅府方面に移轉さるゝにつき氏の厚意を辭するお客様の大演藝會々場は羅府方面の人々のよりつけによつて來る三月初旬大國民會主催にて開催することに決定し目下出演者供芝居が主演であつて十二月名の女の子たちが毎晩練習稽古をしてゐるので人氣は大變なものだと噂されてゐる、噂聞および出稿は追日改めて報告すと

玉場水店

隣り活動寫眞館

讓り度し

玉蘆……六蘆 水店、菓子、雜貨 メキシカン、白人の顧客多く收入確實 設備完全、場所一等 父師國のため極安價に讓り度し……又は都合にて玉場水店の何れかを貸し度し

フレスノ市サラレ街一四四一

三島太一郎

開業披露 齋洋服店

電話をレーキサイド六〇八九へ御掛け下さい見本持參王府第十七街八四五番 Y. TSUKI

小此木病院

708 E St. Fresno, Cal. フレスノ 電話(病院)二一一五一〇 住宅)二一四七四一

◇御親戚並に御法事用 菓子 鮨茶 柏屋 フ市カーン街(四四〇) 電話(一九二六)

廉價で取扱は鄭重 J. N. Lisle Undertaker 1805 Van Ness Ave Fresno. ライル葬儀社 Phone 2-2737 or 2-5161

値段は御好通り御相談に應ます ウエスト サイド 葬儀社 404 F St. Fresno 2-4810

央州青年團主催 春興行大盛會

央州青年團主催にて本日各學園に鎮魂金部を寄附する目的で春興行をアメリカン座にて昨日午後六時より開演し團員一同は大作品を上演し後に引續き開演し團員一同は大作品を上演し後に引續き開演し團員一同は大作品を上演し後に引續き

サクラメント 支社 電話 メーン 三〇六六 【十三日】

數千弗の不渡小切手事件

破産したダイヤモンド農産會社に關係の波紋

富市ダイヤモンド農産會社は創立以來數ヶ月を經ずして昨年七月破産して了つたが營業中に羅府のユナイテッド・デストリビューターに振出したる數枚の不渡小切手其總額四千餘弗のうち一千弗の小切手は當時ダイヤモンド農産の副支配人たり現在住宅の經營者たる常次郎氏の署名の千弗の小切手以外の他の數枚の不渡小切手三千弗の概算額は二千弗に達するであるが事件は之に止まらず羅府のユナイテッド・デストリビューター會社に前記福井氏署名の千弗の小切手以外の他の數枚の不渡小切手三千弗の概算額はしてもダイヤモンド農産會社の關係者一同と決意を固めるの花草の三曲合奏である。

▲出演者は浅江、君子、瀧藤氏の民謡について大體の說明を與へ直に合奏に移る筈なれば充分に日本人が或程度の親點を彼等に曝露したかの如く見らる。而して一方比島人は折々集會を催し結束を堅くするものゝ如くも噂されつゝあり。

▲日本人の娘追悔さる　十二日の夕方石井氏頃東ワシントン街の北側を通行中の十三四才くらいの日本人娘に對し數人の比島人が道をふさいで同女を取囲んでいるの所へ通りかかりの白人に助けられたと、靜節栖子供孫に娘の外出は禁じられたしと。

▲三年上　長谷川雄二（十五）（一八）は先日井上、沼田師範氏の紹介により同じく高校出身にして野球選手勇槍、高校出身にして野球選手の義雄（一〇）▲三年下　松和田正雄（一十一）君と婚約せられた。岩見嬢は佛教男女青年會の會員にして過去長及書記の職にありし事あり、又日校の教師として一般から愛されてゐる。又和田君は山口縣人和田庄

▲時別寄附　國歌敬天氏は兒玉信子女と結婚に際し佛教會へ金五弗寄附

▲佛教會日曜行事　日曜學校十五日（二十一）君と婚約せられ十時より佛教會にて井上、神谷、橋本、松岡、井手諸氏當番のもとに開催。

▲時法話講　十六日（日）午後十時より佛教會にて井上、神谷、橋本、松岡、井手諸氏當番

▲華村君日校　十七日（月）午後四時ラッパ日校

▲ホテル讓る　場所モデスト市日本人街中心地新建築物、室數三十二、長期リース附、客日白比島人、レント格安、主人一身上の都合に依り適當の方に讓る。携簡易或は委託經營の相談にも應ず、希望者は大至急左記へ申込を乞ふ

西本事務所
401 S Center St. Stockton, Calif.

▲父兄會長　山根信藏▲會計　竹内藤雄▲會計監査　井上政之助　青山弘一

●熊本海外協會役員　熊本縣海外協會櫻府支部では去る十日井芹氏宅で理事會を開き總會の決議事項を協議し理事の互選、評議員の補缺選擧をした

▲理事長　前田清造▲會計　松村保藏▲理事　富田寛治　寺本德成　廣瀬清藏　本田末吉　久保田到　四島修藏　渡邊政雄、中尾官次郎　新居重平　四村爲次郎　渡邊源藏　備後三郎　嶋村改造　田屋末郎　星光慶藏　古江長五郎　赤星善吉　富田登　藤井正道　堀眞記　津田三義　菊本幸夫　富永喜　渡邊白藏　緒方敬吾　緒方清武　勝江金藏

▲地方評議員　ルーミス田上榮喜　フロリン平木太郎　ヨーロー松岡昌雄　フェヤオークス荒瀬宇平　リバサイド　福江勝藏

●母の會例會　當市パブチスト協會櫻府支部では來る十四日午後一時半より例會を開きミ、ホーランド氏の報告あり、再討議の後田村、宇都宮、西本、大谷、石原、諸氏は再び留任勤告することに決定、ついで會計報告をなし承認後、舊職運營委員集合之を定すること、但し新道員は理事會に一任す、入佛式は本年内に時期を見て執行のこと、青年會に佛教會を附屬勤誘は委員をあゆてなすやう理事會に一任、婦人會および少女會の設立、開教使慶接室の改築、理事缺員補缺として左の諸氏をあげたり

櫻府佛教會總會　櫻府佛教會總會は日曜午後開催、出席者十七名、議長宇都宮氏、書記増田義一氏推れ開會、まづ理事會のことく特別運營會を佛教會に一任、運營講演

●基督教會總會　須市キリスト教會報告、石川榮助、鄭士の特別報告、井上夫人の邦語報告、井上夫人の婦人會々情報告、國、石川夫人の婦人會々情報告、石川夫人の婦人會々情報告、石川夫人の婦人會々情報告、

●長老教　當地長老教會は來る八月頃パネキス街に寶設される。會員は本正式に寶設された。會員長老教會は來る八月頃パネキス街に寶設される。會員長老教會は來る八月頃パネキス街に寶設される。會員長老教會は來る八月頃パネキス街に寶設される

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10881. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., FRIDAY, FEBRUARY 14, 1930
Copyright 1930 By the Japanese American News
Per Year $11.00
Per Month $ 1.00

WOMAN VOTE IN JAPAN TO TAKE 10 YRS.

Suffrage Leader Outlines Task to Be Accomplished

Ten years women leaders of Japan are allowing themselves to accomplish that which the most advanced nations have struggled generations to bring pass! Ten years in which to win universal suffrage for women! Ten years in which to prepare these women for the tasks they must face when suffrage has been granted them!

This tremendous work, a task which seems not unlikely of accomplishment, is being shouldered by eight major organizations numbering several million women. These members have been brought together by their common interest in the advancement of the women of Japan. They are not forgetting nor neglecting their original purposes, which are varied, but for the present they are uniting for a common cause, universal suffrage for the Japanese women.

TO FINISH IN 10 YEARS

Although they allow themselves only a decade to complete their work it does not mean that they are starting from "scratch." For already more than ten years have passed since the first steps were taken to bring to Japanese women the right to participate in the government of the land.

Something of the work that has been done and that which remains to be carried on was revealed in an interview by Mrs. Ochimi Kubushiro, National Secretary of the Japanese W. C. T. U. and president of the Fusen Kaku Toku Domei.

Stopping in the midst of a multitude of duties, she talked earnestly about the work which claims her interest. Her bright eyes glowed as she spoke of the accomplishments of the past years and there was determination in her voice as she declared that the rest must be finished within ten years.

"My interest in suffrage came as a sort of a side issue," Mrs. Kubushiro explained. "While Working with the W. C. T. U. for the abolition of licensed vice I became convinced that we could not be successful until the women were given the right to vote. It was clear that we should devote our interests to suffrage if we were to be successful in our original undertaking."

3 PIONEERING BODIES

At present there are in Tokyo three large organizations affiliated with the international suffrage movement. The first of these was organized in 1919 the Fujin Sansei Domei which has undergone many changes but which is still carrying on its work. The second was organized to work among the W. C. T. U. members and it is known as Nihon Fuzin San Seiken Kyokwai. Later the Fusen Kaku Toku Domei was founded to interest all classes of women. It formed in 1924, the year that universal suffrage was granted to men. It has taken a leading part in the active work for suffrage and now has 1000 members of four classes. The regular members contribute a yen a year for the support of the work as do the regular friendly members (men who are interested in the success of the movement). The supporting members pay ten yen a year and the friendly supporting members do likewise. There is also a group of friendly supporting members who contribute 100 yen a year and have pledged themselves to do this until the object of the organization is accomplished.

MODERN METHODS

Profiting by the experience of women in other countries, the Japanese women have a sound organization and are carrying forward their work with very modern methods. At their headquarters there are three paid workers who help edit the magazine for the society. Pamphlets are distributed, lectures are given and four local unions have been organized in precincts to carry forward the education of women.

The program for the coming year calls for the broadcasting of political education, a lecture tour in all the cities of Japan, the distrtbution of pamphlets and literature and other routine work.

While each group of women work independently for a common goal during most of the year all of their efforts are concentrated during the sessions of the Diet. At that time the eight organizations join forces. The three clubs in Tokyo, the Zen Kansai Fujin Rengokai, a great organization of 2,800,000 women from the south of Japan and the four Proletarian organizations work together. The proposed granting of citizenship to women of the six large cities of Japan is pointed to as one of the successful accomplishments of this group.

LITTLE BY LITTLE

While this right to participate in local government has not actually been given to women, it is indicated that it will be awarded next year, according to Mrs. Kubushiro.

At the last Diet session under Tanaka this question of women's participation in the local governments was not allowed to come before the Lower House because of the opposition of the Home Minister. The last Minseito Diet was dissolved before this measure was considered.

The next meeting will be a short session in which there will be no time to consider the question but the women firmly believe that during the Forty ninth session citizenship will be granted to the women of the large cities. While this will elate them greatly it will not make them lose sight of their gerater goal, universal suffrage, Mrs. Kubushiro declared.

"One of the most encouraging features of this whole struggle for suffrage has been the ability of Japanese women to work together harmoniously. Many creeds and faiths are represented in the suffrage organizations. But our women are willing to forget their differences for the common cause. Interest in the progress of Japanese women have drawn supporters from many fields. We number among our workers two professors of the ancient tea ceremony, women whose interest in the traditions of the past has not blinded them to the needs of the present."

With characteristic foresight the leaders in the suffrage movement have not failed to realize that the women of Japan must be prepared for the task of assuming the responsibility of participating in the government of their country. Everywhere the education of women is being carried forward so that they will be ready to assume their task when the right to vote is given them.

Chief of Staff Gen. Suzuki Will Retire from Army on Feb. 22

Special To the Japanese American News

TOKYO, Feb. 13—Gen. Soroku Suzuki, chief of staff of the Japanese Army, will enter private life on Feb. 19, when his retirement period from military career starts. He will be succeeded by Gen. Nobuyoshi Muto, and the nomination ceremony will take place on the same day that Gen. Suzuki retires.

GARDENA TO HOLD PARTY

Valentine Affair To Be Given Saturday at Kobata Home

Special To the Japanese American News

GARDENA, Feb. 13—With the Valentine season in full swing, the members of the Japanese Alumni Association of the local high school will hold a social party among themselves on Saturday night, Feb. 14, at the home of Joe Kobata. The affair starts at 7:30 p. m.

Miss Fumiko Yokoyama, president, will call to order a brief business session just prior to the social. A variety of novel and entertaining events are in store for the young people during the main social period.

The refreshments are prepared by Mrs. May Koga, with the assistance of the Misses Yuki Hashii, Kuny Kobata, Matsu Yanaga, and others. All alumni are urged to take part in this social.

Oakland Epworth To sponsor Party On Friday Night

Special To the Japanese American News

OAKLAND, Feb. 13—Young sweethearts of the local Japanese Methodist Church will have their share of romance and fun on Friday night, Feb. 14, when the Junior Epworth League holds a Valentine Party from 7:30 p. m. in the church building.

William Minami has been selected chairman, and friends of the club are extended invitations to this party. Games and entertainments are being planned by the committee, while light refreshments will be served later in the evening.

Those in charge of the affair are: Ari Inouye, president, general arrangements; Mas Sato and her assistants, Alice Okada and Grace Saito, refreshments; Ari Inouye, decorations; William Minami, games.

San Martin Temple Boys to Stage Huge Annual Town Picnic

Special To the Japanese American News

GILROY, Feb. 13—The annual San Martin Valley Japanese community picnic will be staged this year on March 16 under the auspices of the San Martin Young Men's Buddhist Association.

With the whole Santa Clara Valley smothered in one blanket of orchard blossoms about that time, the Japanese people of this section are looking forward to a day of much enjoyment and gayety when that huge annual picnic is staged through the co-operation of young men. The picnic ground will be selected presently.

The San Martin Y. M. B. A. will be ready for distribution of its club magazine very shortly. The publication, which goes under the title of "Kaiho," is the first attempt of the club in this particular field, and indications are that the project will prove successful.

JAPAN, CHINA TO BE LINKED BY AIR ROUTE

Schedule for Service Between Kiushu and Shanghai Planned

Special To the Japanese American News

TOKYO, Feb. 13—The Japan Air Transport Company was today officially notified by the government that Nanking has granted Japan a permit to launch its projected air line between Fukuoka, in the Island of Kyushu, to Shanghai. The notification was made through the Ministry of Communications.

With the granting of the permit, the company wil conduct a series of test flights from May 5 for a period of one month. The regular service schedule, wheih starts in the early part of June, will be carried out by 12-passenger Dornier planes with two 600 H. P. motors each.

The proposed route over the China Sea covers a distance of little over 500 miles, and five and half hours are necessary to make the flight between the two points.

Bay Region Temple Society Will Hold Meeting on Sunday

Special To the Japanese American News

OAKLAND, Feb. 13—An officers' meeting of the Bay region Y. M. B. A. will be held on Sunday afternoon, Feb. 16, at the Oakland Buddhist Temple. The session starts at 2 p. m. All officers are urged to attend.

Japan Capitalist Chosen Delegate to Geneva Labor Meet

Special To the Japanese American News

TOKYO, Feb. 13—Yunosuke Kunimoto, vice president of the Osaka Chamber of Commerce, was chosen to represent the Japanese capitalist group at the forthcoming International Labor Congress to be held in Geneva. Kunimoto unofficially accepted the position.

JUNIOR AND SENIOR CLUB

Pleasant times to everybody on St. Valentine's Day!

We have two members whose BIRTHDAYS make them into valentines:

Mary Yamamoto and Fusako Grace Matsuda.

Many thanks to Bernice, Mary, Alice, and Betty Yomogida. Bernice, you gave us lots of hearty laughs.

And many thanks to Rose and Ben Kubo and to Helen Sakaye Baba.

Akiko Kamikawa will soon join the Club.

Kan Uyeda, of R. D. 1, Box 95, Garland, Utah, says:

"I am learning the Japanese language every day from my mother. I find it difficult but I think it is a good thing to learn if you really are Japanese."

And he sends us this riddle-question:

"What is the longest thing in the United States?"

And the answer is The Missouri River. I can think of other answers. Can you? It is certainly an interesting question.

Kan, thank you for the story "Alabama and the Forty Thieves." It makes us think of the old story "Ali Baba and the Forty Thieves." We think that girls would not like a story with quite so much killing in it, Kan. So instead of printing it, we shall be glad to loan it to anyone who will be sure to return it. Probably boys would like it.

We thank Mary Korenaga Senior Member of R. R. 2, Delta, Colorado for her thoughtful, charming note.

Welcome to this

NEW MEMBER

Ido Fukui, age 9, grade 5, birthday, January 28, address P. O. Box 556, Carson City, Nevada.

Ido asks for letters from members. Even though you are busy with school work, I hope you are finding a little time to welcome the new members as they join.

A valentine is a pleasant gift
To send to somebody dear.
The kind I like best is a smile to lift
The heart of me, bringing me cheer.

Eight Youths Charged With Murder Of Filipino In Watsonville Racial Riot to Be Tried in Superior Court

Special To the Japanese American News

WATSONVILLE, Feb. 13—Eight American youths, charged with complicity in a conspiracy that resulted in the death of a Filipino in a recent race riot in this city, will be tried in the Superior court, it was decided by Judge D. W. Rohrback, an officer of the local justice court.

Two of the eight suspects are out on $1000 bail each, while the rest are detained in prison at Salinas.

Judge Rohrback's decision is hailed here favorably by the Filipino colony, which had thought that Rohrback may be prejudiced against the case of Filipinos, whose immigration restriction he had advocated in a petition to Congress.

PENRYN BOY FETES CAGE

Tayama Host at Party Given to Celebrate YMA Victory

Special to The Japanese American News

PENRYN, Feb. 13—Thomas Tayama, manager of the Placer Y. M. A. entertained a large group of young people at a social party given on Sunday at his home.

The party was given to celebrate the victory of the Placer Y. M. A. in the Northern California Y. M. B. A. League, and nearly 100 guests attended. Those invited, include the Placer Y. M. A. basketball champions, their officials, Placer Shojo-Kwai basketball players, and the Newcastle Y. M. E. S. cagers, as well as many Newcastle girls.

Marcel Kawada acted as chairman, and the following spoke in behalf of their organizations:

Yoshio Kawada, Roy Yoshida, Alice Masuda, Mary Tayama, Teruko Nitta, M. Furutani, and Harry Tayama.

The second part was devoted to entertainment. George Nakano acting as chairman, introduced many interesting games, songs, and other enjoyable numbers. The party ended with a delightful dance.

Fred and Harry Tayama, brothers of Thomas Tayama, returned from Los Angeles last week to celebrate their father's 61 birthday. They then left Penryn early Monday for Los Angeles.

Walnut Grove Girls Will Hold Benefit Show on Feb. 22, 23

Special To the Japanese American News

WALNUT GROVE, Feb. 13—The members of the local Shiragiku Kai are engaged in selling tickets for the benefit show, planed for production on Feb. 22 and 23.

The show consists of an educational picture, which should not only be entertaining but instructive as well. In addition, the girls are planning to conduct a candy sale during the intermission in order to swell their club funds. A large crowd is expected to fill the local Japanese Hall on both nights.

The Shiragiku Kai will also sponsor a Valentine party at the local Buddhist Church on Friday night, Feb. 14. Sunday School children and parents are also invited to the party. Many social games will be played, and refreshments will be served later in the evening.

Vacaville Club to Act as Hostess at Valentine Affair

Special To the Japanese American News

VACAVILLE, Feb. 13—The Sumile Kai will hold a Valentine party on Saturday night, Feb. 15, at the local M. E. Church. The various committees appointed by the president have been working hard to make this party a huge success.

The guests of the evening will be the members of the Y. W. B. A. and the Y. M. B. A.of this city, as well as members of the Hotaru Club of Suisun.

HAWAII BOY IN UC DEBATE

U of Hawaii Debaters Tackle Bears At Wheeler Hall

Special To the Japanese American News

BERKELEY, Feb. 13—Shigeo Yoshida, the only Japanese on the University of Hawaii debating team now on a tour of the Pacific Coast, showed his exceptional brilliancy as a speaker in a debate staged at the Wheeler Hall on U. C. campus on Tuesday night.

The team debated against the University of California on the question, Resolved: That English Criticism of the American Educational System Is Justified.

The visitors upheld the negative of the question. In accordance with a previous agreement, no decision was rendered in this debate. The invading team is composed of Shigeo Yoshida, Dai Ho Chun, a Chinese; and Donald Layman, an American.

The Hawaii team will debate the University of Southern California on Friday night, Feb. 14, at the Bovard Auditorium. The question will be: Resolved, That Nations Should Adopt a Plan of Complete Disarmament, Except for Such Forces as Are Necessary for Police Protection.

On Feb. 7 the visiting debaters engaged in a contest with the College of Pacific students. The debate with the St. Ignatius College in San Francisco, which had been sceduled for Feb. 10, was abandoned, but an engagement with the Stanford University took place on Feb. 12 at Palo Alto.

Bay YPC Planning Pre - Registration For Its Conclave

A pre-registration campaign, for the Bay Region Young People's Christian Conference convening at the local Methodist Church, March 8 and 9, will be launched shortly this year to encourage a large attendance among the young Christians of this section.

This was announced yesterday by the chairman of the registration committee. This year the conference will follow the same plan employed last year. The first and second banners will be awarded to the two organizations which achieve 100 per cent registration before the others. Further announcements will be made in these columns shortly.

TOWARDS A NEW TYRANNY

BY GLENN FRANK

The ardor of man's love of liberty is ever dampened by his love of power.

Man's love of personal power is ineradicable.

But men are many and the posts of power are few.

And so man must find other ways in which to satisfy his passion for control.

If he cannot achieve personal power, he is prone to satisfy his love of power by achieving it as part of a triumphant and controlling group.

And here, perhaps, is the greatest threat to human freedom today-.

This cooperative lust for power, this collective thirst for dominance, in which men who are individually weak have a sense of power, takes different forms in different situations.

In modern Russia, it takes the form of a militant minority.

In modern America, it takes the form of a militant majority.

I am not sure but that history will reveal that, in the long run, a militant majority is more dangerous to human freedom than militant minority.

Out of the very womb of democracy, which was designed to sound the death knell of tyranny, may grow a tyranny more perilous than the ruthless reign of a dictator grown drunken on the heady wine of absolute authority.

If democracy gives birth to this new terrible tyranny, it will be due to a perverted and pernicious interpretation of majority rule.

No doctrine of our time needs more candid and comprehensive re-examination than the doctrine of majority rule.

I suggest the beginning of such an examination.

Majority rule is, or should be kept simply and solely a pacific device for electing leaders and settling contests, a substitution of the counting of noses for the more ancient method of breaking heads.

But humanity should fight every attempt to endow the majority with the "right" to determine those qualitative judgments of true and false, of right and wrong, in the determination of which alone the individual becomes a man instead of the slave of a system.

When the majority assumes to dictate morals or determine what science may or may not see, the mailed fist of a new tyranny begins to creep from under the cloak of democracy.

Copyright, McClure Newspaper Syn.

CHEST DRIVE TO BE AIDED BY JAPANESE

Local Japanese Bodies Get $25,000 From Chest Last Year

The Community Chest campaign to raise $2,290,000, for financing the 1930 maintenance expenses of one hundred and seven welfare and social service agencies will be conducted from February 24 to March 7. Each year this campaign is conducted by a force of volunteer solicitors numbering nearly 6,000 men and women who receive no pay for their services. Practically everyone of the volunteer solicitors is also contributing financial assistance as well as personal service.

Japanese residents of San Francisco, or those who are financially able to do so, will be asked to subscribe to the Community Chest fund. In past years the Japanese residents of the city have always supported the Community Chest morally and financially. It is expected that they will do so again this year.

A committee of Japanese solicitors under the direction of M. Aoki will call on local Japanese for their subscriptions. Mr. Aoki had charge of this committee last year.

The attention of Japanese people is called to the fact that the Community Chest looks after human suffering and needs regardless of race or religious creed. Valuable assistance was rendered to Japanese people in San Francisco during previous years. The following is a statement of services to the Japanese by the Community Chest during 1929:

Direct expenditures to individual Japanese during the year 1929	$20,316.00
This was divided as follows:	
Jap. Y. W. C. A.	$4,125
" Y. M. C. A.	5,391
" Salvation Army	7,200
Hospitalization, Clinics (est.)	3,600
	$20,316

In addtion to the above expenditures there was a considerable amount of money expended for work among the Japanese through the Boy Scouts, day nurseries, and various boys' clubs and community houses. It is impossible to determine the exact amount, but it is estimated that it is in the neighborhood of 5,000.00, which makes a total of $25,316.00

Japan Enters Last Phase of Election Campaign for Diet

TOKYO, Feb. 13—With only one week left before the general election, various political parties today entered their final phase of the campaign for election of their candidates to the Imperial Diet.

The total number of candidates registered up to yesterday was 840, and this number is expected to reach 850 by tonight when the registration closes. Compared to the 965 candidates contesting for the Diet in the last general election, the present figures constitute a considerable reduction.

YOUNG CANDIDATES

In four precincts the number of candidates corresponds to their respective alloted number of iDet representatives. If no further candidates register today, there will be no contest in these precincts, as all the candidates will be automatically elected.

Among the candidates from the proletarian parties the younger element seems to be predominant in number. Those in the ages of thirties number 48 candidates, those in the forties number 32, while only seven candidates between fifty and sixty years are running on the proletarian tickets. Isoh Abe and Toshiko Sakai, both veteran labor leaders, are the only two over sixty years of age.

"PRESIDENT" HAMAGUCHI

The Tokyo newspapers today nicknamed Premier Hamaguchi "the President," following his Hibiya Park address yesterday. The Finance Minister Inouye was dubbed "The God of Gold Ban Lift," and Cabinet Secretary Suzuki was declared to be the "first clerk of the Cabinet."

TOKYO, Feb. 13—Takeichi Fujiyama, former governor of Tochigi prefecture, died today by a congestion of the brain following a campaign address delivered at Yaitamachi in behalf of Tsutomu Mori, former Vice-Minister of Foreign Affairs.

Grandfather of S. F. Young People Expires In Japan of Illness

Special to The Japanese American News

Y. Ogawa, grandfather of Toshimi and Uta Ogawa, well known local young people, died from illness in Chiba prefecture, Japan, according to a cable message received by the Ogawa family, 1617 Geary street.

Mrs. Michi Ogawa left this port on Jan. 31 aboard the Dollar liner, President Madison for Japan in order to pay a visit to her father, who had been ill. While she is scheduled to reach Yokohama today, a message is already conveyed here that he is dead. Mrs. Michi Ogawa is the mother of Miss Uta Ogawa.

SCOUTS WIN RALLY TILT

Seven Japanese Boys Members of Winning Troop Twenty

Special to The Japanese American News

PETALUMA, Feb. 13—Troop No. 20, whose membership includes seven Japanese youths in addition to the American scouts, won third place at the rally and court of honor, sponsored on Saturday night by the Petaluma District Council of the Bay Scouts of America.

The meeting was part of the local program for the observation of the 20th anniversary of the scout organization in America.

The scout rally attracted one of the largest crowds ever assembled here. It was held in the spacious high school gymnasium. The balconies were filled with parents and friends, while the lower floor was lined with scouts and officials.

The rally consisted of a life line knot tieing contest, compass relay race, judging contest, fire by friction, dressing race, first aid, etc.

The results were particularly interesting, as Troop No. 20 is one of the youngest troops in the council. It was organized in December of 1929. Over 300 scouts vied for honors at this rally.

The officers of Troop 20 are:

Scoutmaster, Henry K. Fujita; patrol leader, Mike Hirooka, scribe, Jim Miyano.

Alameda Students Clash With Temple Cagers on Friday

Special To the Japanese American News

ALAMEDA, Feb. 13—Climaxing their somewhat unsuccessful season in which they did not gain a single victory, the Alameda Student Club quintet will battle the local Y. M. B. A. Templars on Friday night, Feb. 14, at the new Herbert Hoover high school court in Oakland.

The two teams annually contend for the supremacy of the Island City. The Templars are at present leading the Y. M. B. A. circuit. As an added interest to the already interesting game, the two teams are coached by former team-mates on the Alameda high school team. Jim Spratley is coaching the Templars; while the Mudhens aer coached by Artie Risden.

The Mudhens will find that they have not played their season in vain, if they succeed in vanquishing the Templars; for the Y. M. B. A. boys have been playing a high grade of basketball. Captain "Lindy" Nakano of the Templars and Captain "Rokie" Rokutani of the Mudhens have been hopefully preparing these many weeks for the coming fray. Adherents of the respective teams will not be dissapointed in watching this game, which will be the best contest in the Bay Region.

Japanese Tragedy to Marks Alameda Show To Be Given By E. L.

Special to The Japanese American News

ALAMEDA, Feb. 13—Rehearsals for the various plays and songs for the Epworth League benefit show, scheduled for Feb. 22 in this city are nearing completion, and the tickets may be obtained from any league member in Alameda or from Yoshio Hayashi in San Francisco.

The program consists of songs and plays sung and acted by beautiful Japanese girls of the Dahlia City.

A feature of the show is the Japanese play, entitled "The First and the Last,' by John Galsworthy. It is a tragedy in one act.

The story in brief is as follows:

Tadao and Yoshio are brothers trying to get along in this world. Tadao is an easy going fellow, while Yoshio is a serious young man.

Tadao falls in love with a street waif, and when he meets her former husband, he kills him in his jealousy.

Yoshio, his brother, takes pity on him and sends him to South America, where, after much brooding and despondency, commits suicide.

During the course of the play many anxious scenes are seen, and with the able acting of Kenneth Kadonaga as Tadao and Shozo Fujii as Yoshio, the play promises to be a great success.

JAPAN URGES CUT IN SIZE OF WARSHIPS

25,000 - Ton Limit Is Sought for Capital Ship Category

LONDON, Feb. 13—(UP)—Reduction of the tonnage of battleships and a replacement holiday until 1936 were advocated today in a memorandum issued by the Japanese delegation to the naval conference.

The memorandum, outlining the Japanese position for the first time, proposed reduction of the size of battleships from 35,000 tons, as provided by the Washington Treaty, to 25,000 tons.

It also advocated reduction of guns to 14 inch calibre and extension of the age of battleships to 26 years.

"The Japanese delegation," the memorandum said, "is ready to agree not to lay down any capital ships until 1936. It also deems it desirable that an agreement should be reached in size to 25,000 tons from 35,000 tons."

MAINTAIN PRESENT U-BOAT

The broad Japanese position on strength was made clear when, after referring to the importance of 8-inch gun cruisers, the memorandum said Japan "desires to maintain a strength sufficient for national defense, taking into consideration the strengths held by the other powers."

A maximum indivdual tonnage for 6-inch gun cruisers was advocated between 7,000 and 7,500 tons.

Japan proposes to maintain its exisiting force of submarines and advocates an age-limit for submarines of 13 years, the memorandum said. Japan now has 64 submarines and is building 7.

AGE LIMIT OF SHIPS

An age limit of 20 years for small cruisers was advocated by the memorandum, and of 16 years for destroyers.

Japan advocates that provisions for the limitation of aircraft carriers should be extended to carriers of less than 10,000 tons. The age limit of carriers over 10,000 tons would be extended from 20 to 26 years, and that of small carriers would be fixed at 20 years.

The memorandum reiterated Japan's opposition to the abolition of submarines, but expressed a disposition to cooperate in restricting submarine activities against merchant ships.

The Japanese agreed to the proposed compromise between the global and categorical methods of limitation—that is, limitation by total tonnage of a navy, or by tonnage in each class of ships. The memorandum favored a formula for limitation which would allow transfers between certain categories — the same formula already being favorably discussed by the delegates.

DESIRES MINIMUM

Japan desires to maintain a minimum strength in cruisers and destroyers sufficient for national defense, the memorandum said. It emphasized that Japan attaches special importance to cruisers with 8-inch guns.

"Adequate limitation" of flotilla leaders and destroyers was advocated, and also limitation of the number of flotilla leaders.

Japan considers it necessary to maintain a strength in auxiliary classes in adequate proportion to that of the other powers concerned. Therefore, if those powers reduce, Japan is prepared to reduce proportionately.

FRANCE HAS GOOD ROADS

BERLIN, Feb. 13—(UP)—Roughly 10,500,00 kilometers of roads on the globe are fit for automobile traffic, according to the latest statistics.

Among European countries, France has the best network of such roads.